

クオリティインディケーター(QI)成果報告 〔内視鏡センター〕

指標名

上部・下部消化管内視鏡件数、治療内視鏡件数

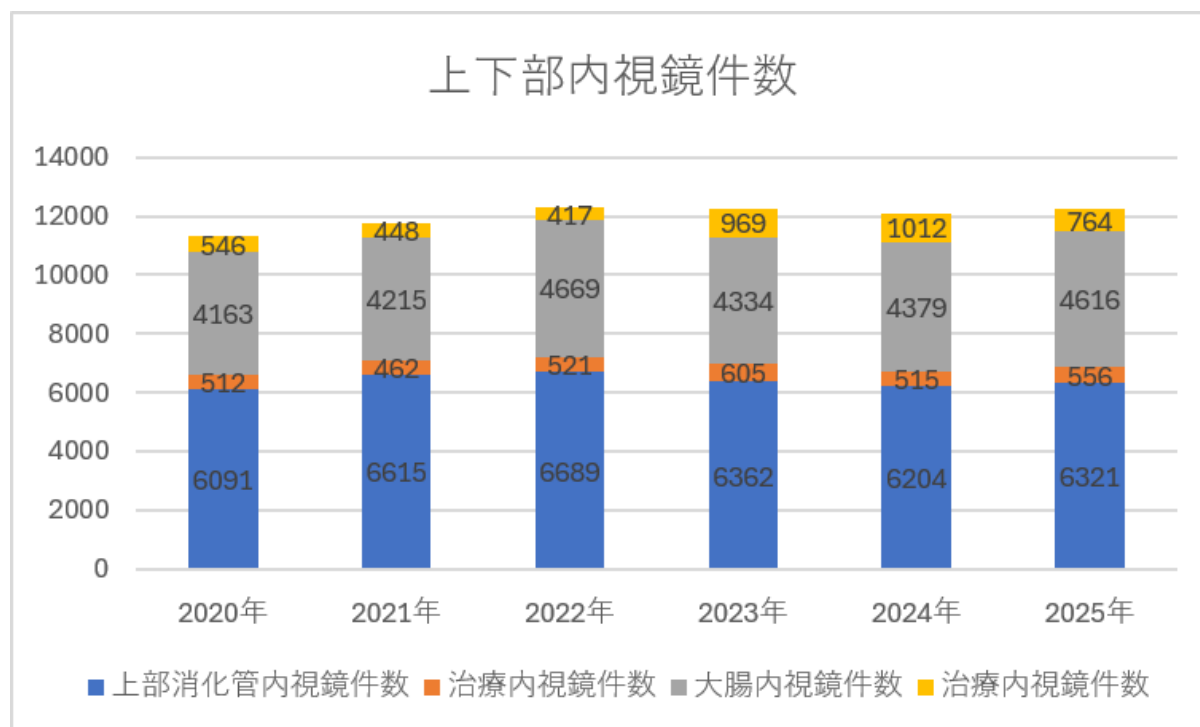
目標・ゴール

- ・ 内視鏡件数（治療内視鏡も含む）12000 件/年を目指す
- ・ 判断能力および内視鏡手術の向上を目指す

目標・ゴール達成による効果

経験症例の蓄積により質の向上と内視鏡手術件数の増加が期待される。

目標・ゴールに対する成果の状況



目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

- ☐S : 大幅に目標を上回った
- ☐A⁺: 目標を多少上回って達成
- ☐A : 目標を達成
- ☒B⁺: 目標を少し下回った
- ☐B : 目標を下回った
- ☐C : 目標を大幅に下回った
- ☐ー : 外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

鎮静剤使用による安静時間の見直し・安静時間の延長により、内視鏡検査の稼働が頭打ちになってしまい、目標検査数まで一歩及ばなかった。入院治療の効率的な利用や新規に保険収載された超短期作用型の鎮静剤を導入し安静時間の短縮を図り、検査や治療数の増加に取り組んでいきたい。